

当院で生活習慣病の治療中の患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施します。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を研究のために解析してまとめるものです。研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報は本研究には利用せず、それ以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2025年6月1日から2026年5月31日の間に、当院 内科／腎臓・高血圧内科外来に来院した、満65歳以上の患者様120名(男女は問いません)

【研究課題名】

内科外来患者でのオーラルフレイルスクリーニング質問票(Oral frailty 20-item Checklist : OF-20)による口腔機能評価の有用性の検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科 部長 吉原史樹

【研究の目的・意義】

高齢者の口腔機能低下(オーラルフレイル)は全身にも悪影響を及ぼすことが近年注目されており、全身のフレイルや加齢に伴う筋肉減少症(サルコペニア)とも関連していることが知られています。本研究では、一般外来で簡単に評価できるスクリーニング質問票(Oral frailty 20-item Checklist : OF-20)を用いて、オーラルフレイルと全身状態を反映する身長、体重などの身体指標や、血液データ、筋力などに関連があるかどうか検討することを目的とします。

本研究により高齢者の口腔機能低下と全身のフレイルとの関連が明らかとなることが期待されます。今後の医科歯科連携をすすめる上で、有益な知見が得られると考えられます。

【利用する診療情報等】

通常診療で得られ、電子カルテ上に記録された以下の情報を使用します。

1. 年齢

2. 性別
3. 身長と体重
4. 既往歴
5. 診察室血圧、心拍数
6. 血液データ
7. 握力
8. オーラルフレイルスクリーニング質問票(Oral frailty 20-item Checklist : OF-20)結果

【情報の管理責任者】

大阪歯科大学 内科学講座 准教授 楠 博

国立研究開発法人国立循環器病研究センター理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

この研究は、他機関と共同で実施します。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター・ 腎臓・高血圧内科 部長 吉原史樹

共同研究機関・研究責任者

大阪歯科大学 内科学講座 准教授 楠 博

また、本研究で収集した情報を、下記の機関に提供し、解析を行います。提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

機関名：大阪歯科大学

研究責任者：内科学講座 准教授 楠 博

提供方法：直接手渡し

【研究期間】 2026年6月1日から2028年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

大阪歯科大学 内科学講座 准教授 楠 博

電話 06-6910-1078

国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科 部長 吉原史樹

電話 06-6170-1070